

	意見の概要等	対応等
平成21年度モニタリング計画案について	<ul style="list-style-type: none"> 波高の頻度分布図では、影響が大きな波高の波は、頻度が少なくても重要であるので、その回数等が明確に分かるようにすべき。 	<p>資料 - 6 - 2 1 - 8シート</p> <ul style="list-style-type: none"> 頻度分布図の各波高の階級に回数を記述した。
	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング測量結果による地形変化において、石積み護岸部分が0.3m近く変化しているように見られる。 地形変化について、横軸が時間の変化量のグラフがあるとより分かりやすい。 	<p>資料 - 6 - 2 1 - 10シート</p> <ul style="list-style-type: none"> 石積護岸上の地形測量は、測線上を計測していたが、特に定点を決めて計測していたわけではなかったため、石積護岸の高さが変化しているように見受けられた。今後は定点を決めて観測していく。 なお、石積護岸の沈下管理の測量は、モニタリングとは別途、定点を設けて計測されている。H19年8月からの沈下は現時点で20mm程度である。(次ページ参照) <p>資料 - 6 - 2 1 - 11シート</p> <ul style="list-style-type: none"> 沖合30m、60m、100m地点の地形の時間的変化のわかる図を追加した。この資料を見ると侵食、堆積の一定傾向はみられない。
	<ul style="list-style-type: none"> 「護岸改修前後で波浪の変化はみられない」という記述(資料2-1, 1-8)と石積護岸の返し波の写真で「返し波による波立ちが小さくなる。」という記述は矛盾する。 言葉遣いを検討してください。 	<p>資料 - 6 - 2 1 - 12、1 - 13シート</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成17年度の護岸検討委員会において、石積護岸に改修することにより、返し波(反射波)が鋼矢板壁に比べて小さくなり、大きな地形変化が起こらないと予測した。 高波浪時の写真は、地形変化を起こすような大きな返し波は起きていないことを見てもらうために記載したので、そのように表現を変更した。

沈下計動態觀測一覽表

測 点 日 時	No, 82				備 考	略 図
	観測点A (海側)		観測点B (陸側)			
	測定値	沈下量累計	測定値	沈下量累計		
	(m)	(mm)	(m)	(mm)		
2007年8月3日 (金)	+ 3.370	-	+ 6.557	-	初期値	
2007年8月10日 (金)	+ 3.369	- 1	+ 6.556	-1		
2007年8月17日 (金)	+ 3.368	- 2	+ 6.554	-3		
2007年8月24日 (金)	+ 3.366	- 4	+ 6.552	-5		
2007年8月31日 (金)	+ 3.366	- 4	+ 6.551	-6		
2008年7月30日 (水)	+ 3.361	- 9	+ 6.552	- 5		
2008年8月28日 (木)	+ 3.361	- 9	+ 6.553	- 4		
2008年11月4日 (火)	+ 3.351	- 19	+ 6.541	- 16		
2008年11月18日 (火)	+ 3.350	- 20	+ 6.539	- 18		
2008年12月23日 (火)	+ 3.350	- 20	+ 6.539	- 18		
2009年1月20日 (火)	+ 3.351	- 19	+ 6.540	- 17		
2009年2月17日 (火)	+ 3.350	- 20	+ 6.541	- 16		
2009年3月16日 (月)	+ 3.350	- 20	+ 6.540	- 17		

第 11 回三番瀬評価委員会での意見及び対応について(2 / 4)

	意見の概要等	対応等
平成21年度モニタリング計画案について	<ul style="list-style-type: none"> ・シールズ数を用いた「底質移動」の検証では、H19年9号台風時に「底質は動いていた」という記述と、完全移動限界水深計算を使った検討では「明瞭な地形変化は起こらない」と矛盾する。三番瀬のような浅い海域では完全移動限界水深ではなく、シールズ数で整理した方がよい。 ・「砂(底質)が動くこと」=「地形が変わること」ではないので、「底質が動くこと」はあっても「地形変化の計測結果からほとんど変化がなかった」ことを整理すればよいのではないか。 	<p>資料 - 6 - 2 1 - 10、1 - 14シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シールズ数という考え方をういて高波浪時は「底質移動」が起きていたことが分かったが、今までの地形測量により大きな地形変化は起こっていないことから、この状況を説明する手法として移動限界水深の推定手法を用いたが、実際に計測した地形測量結果から、大きな地形変化が起こっていないことが説明できることから、完全移動限界水深の記述を削除し、地形変化測量結果を用いて整理することとした。 <p>資料 - 6 - 2 1 - 15シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地形変化の計測結果からこれまで大きな地形変化がないこと、沖合い100m区間の各地点の時間的な地形変化状況をみても一定の侵食や堆積の傾向が見られないことから、「高波浪時には底質移動が起こっていると考えられるが、施工後約2年までの期間では顕著な地形変化は起こっていない。」とまとめた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市川海岸の波浪観測値と千葉港波浪観測塔データ及び東京灯標データとの相関係数もやや低いので、潮位、風の強さ、方向など場合分けを試みることによって、相関係数が上がるのではないか。 ・21年度モニタリング計画の結論として、波浪・流況について東京湾内の波浪観測点から外力を類推することについては、潮位、波向き、風向きのパラメーターで相関を見直すこと。どのときにどのように推算するのか。相関グラフからどの程度まで言えそうか検討すること。 	<p>資料 - 6 - 2 1 - 18～1 - 22シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各沖合観測地点での波高、波向き、風向き、風速、潮位ごとに相関係数を整理した。その結果、南方系の風向き及び波向きするとき、潮位が高いほど相関係数が高くなった。 <p>資料 - 6 - 2 1 - 23シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、塩浜護岸前面の波浪の類推を行う際には、「比較データが多く、相関が高い東京灯標の波浪データを用いて、護岸及びその周辺に大きな影響を与えると考えられる波を類推することが可能である。」と整理した。

第 11 回三番瀬評価委員会での意見及び対応について(3 / 4)

	意見の概要等	対応等
砂付け試験案について	<ul style="list-style-type: none"> ・置いた砂の動き方によって、ここに入れる生物の種類も変わってくる。流出防止工は砂付け試験の趣旨と矛盾しないか。 ・流出防止工が波をどの程度変形させてしまうのかということを前もってある程度考えておかないと、何の試験をしているのかがよくわからなくなってしまう。 ・現場で近隣の活動に配慮しなければならない事情もよくわかるので、試験の目的と解析の仕方を整理しておけば良いのではないか。 	<p>資料 - 6 - 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流出防止工により、波がどの程度減衰するか検討する。 波が大きい場合、小さい場合について影響を検討 <p>資料 - 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂付け試験の目的を明確になるよう修正した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・生物調査内容が目視調査で一箇所のみというのは不十分で、採取調査を行うことと、調査点は潮間帯の試験場所の両端と中間の3点は必要である。 ・海岸生物は高さレベルで分布が変わるので、ラインで標高別にモニタリングする必要がある。 ・生物の調査箇所は、潮間帯3カ所と標高のレベルで検討すること。 ・試験目的に見合ったような観察・観測の仕方を考えてください。 	<p>資料 - 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂質を生息域とする生物が対象であるとともに、新しい砂質の底面への加入状況の把握が目的であるため、センターにおける観察測線が適当であると考えられる。 ・しかし、低潮帯では多くの生物の加入が期待されるので、測線の両脇の地点でも観察を行う。 ・また、測線上の低潮帯において、採取分析を行う。

第 11 回三番瀬評価委員会での意見及び対応について(4 / 4)

	意見の概要等	対 応 等
平成20年度冬季生物モニタリング調査結果について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青潮の影響を述べているが、青潮に関する具体的な記述がない。青潮の影響について盛り込むのであれば、青潮の記録と考察を具体的に記述する必要がある。 	<p>資料 - 6 - 4 2 - 5、2 - 7シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏季における青潮時の状況の説明を記載した。